



交通整理のいろいろ

一、交叉點の取締 交通事故防止會など設置して交通取締の援助機關を工作して居るのが近時の事相の一であるが交叉地點の如きは唯歩行者のみに注意を加へても事故は防止し難く、徒歩者のピク／＼は制止し能はざる所である、勿論交通の整頓は國民の自覺に待つことの多大なることは云ふまでもないが之れは事容易に其完璧を期し難いのであるが何んと言ふても警察官の取締に求めねばならぬ、夫れかあらぬか到處に交通巡査が目を皿にして立ちゴ・ストツプの信號が赤青橙色の光を交錯して居る、だが燈臺下暗らしとでも云ふべきか、

帝都の真中而かも警視廳の鼻の先東京區裁判所の玄關先での交叉地點では毎日／＼日比谷公園から霞ヶ關の方面へ霞ヶ關から日比谷公園へと徒歩往來する多數者には殺人地獄の感がある、巡査の不足からオミットせられておるのならモット濠端信號處で手加減をしてもらわねばならぬ、とはいへ午前九時前後三時間正午より二時頃と午後四時から五時頃までの三回交通巡査の取締位は可能の事と思ふ、固より一小局部の事であるが存外氣の付かぬ所に仕事があるもので之れも其一である取て警察交通取締當局に切望する。

一、歩道の整理 徒歩者の安全地域は歩道であることは言ふまでもないことであ

注 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

る、故に交通取締の局に當る者は鋭意歩道の整頓に力を用ゐてもらひたいものである、例へば店前の歩道面に荷物を積み累ねたり、自轉車の置場に用ゐたり、リヤーカーを置いたり、自動車を横たへたるものゝ如き歩道の有効力を甚しく削減し往來止の姿と爲す處が少なくないことは誰れでも目に餘つておる事實であるが帝都の中央赤坂溜池の交叉點其處には忠實な交通巡査が信號器を操縦しておるが活動寫真館側の丁度信號器の眞正面に小なガソリンスタンド販賣器があつて其給油を受けんとする自動車は完全に歩道を其車體で横斷する、夫れで危険の注意ある箇所歩道は時々通行停止を餘儀なくせらるゝのである、而かも其筋

向ひには立派なガソリン供給所があるから需用者の側では此往來妨害的販賣所はなくとも差支なき理である、此は一例であるが其他にも斯んな風の歩道交通遮断設備がないでもないのである、歩道の整理は何んとか勵行の方法なきものであらうか敢て借問する。

(ヒロシ)

不器用者の起用

今日は官公吏等の疑獄時代と云ふべき世相であるが之れは畢竟小器用者や小柄口者や無力阿諛者や阿堵物贈呈者や安否伺候者などを成績拔群なりとして使用することから生ずる産物である、現代人は餘りに強い種々な刺戟を受くるために内省の時機を失ふのであるのみでなく内省熟慮などは棄にしたくも心得なく唯無智者や不明者や田舎者を口先で瞞着し以て己が位地を保全するの外良策が無いと考へて有能有識者の進出を防止するが故に砂利を食つたりコンクリートをなめたり幽霊人夫が出現したり緣日

商品の書畫が高價品となつたりするのである、疑獄事件は斯様な處に簇出するから眞人物を擧げ器用ならざる人物を起用するところが祖國日本の爲めに焦眉の急務であるとの投書が某新聞にのせられてあつた、不器用者や酒色を遠ざける者や猥談忌避者などを重用する處には牛の歩みのよしおそくとも其處には眞實が行はるる、實力づくの仕事が出来るものである、投書者は確かに一の具眼者であると思ふ、官廳でも會社でも學校でも公益法人でも形式だけで人物を評價することをやめ醜い詭ひ者を斥けることが是非とも斷行しなければならぬことである。

(秘書生)

暗黒より光明へ

動搖より安定へとか老廢より強力へとか獅子吼する老人と浪人達とがある世の中で矛盾と反對と衝突と不調和とが日々繰り返へされておるのが吾々の住んでおる現代であるが今朝(十二月十四日)手にしたA B

新聞の記事ほど吾々にショックを與へた記事は珍らしい、架橋工事中鐵桁の一端にハシマーを打ちあてられたより更らに驚かされた、夫れは長崎の學位賣買疑獄事件が擴大せられて忽ち五醫學博士が刑務所へ起訴前の強制收容されたと云ふ記事である、我國最高の教育夫れが機械的教育、巧妙な工作に依る教育であるにもせよ苟くも博士ともあるものが檢事に依つて收容せられた、驚人つた事件である實に暗黒世界へ引き入れられた感がした。更らに他の方には東京市王子區豊島町と云ふ所に石井某氏がソロバン先生と呼ばれて身は運送店の一小僧に過ぎない者だが大正十一年から今日に至るまで十二年間店の仕事を五時に終ると近所の小供を集めてソロバンの教授をやつて居る始めは二十人ばかりの兒童であつたが最近では遠方からも自轉車で通つて來るものがあつて五百名初等中學高等の三級十組に教へる夫れで無月謝無報酬盆暮のつけ届も斷つて三十歳を獨身で唯ソロバンの教

授に精通して居る、其地の兒童が珠算に於て常に優秀の成績を示して居ることを唯一無上の樂としておるとのことである、無教育の境涯に在るものでも眞人間は偉大である、此の記事を見て何んだか世が明るくなつた感がした。

(鏡川生)

國務大臣なきか

蠻は甲羅に似せて穴を造るが今日の日本は自己の姿をそのままに九年度豫算に投影したと阿部賢一君は述べて居るが毎年度の豫算案を審議するに當つては所謂分捕主義から各省豫算額を可成多からしむることに各省大臣は熱狂の姿で主張し、時の大藏大臣が強腰に大藏省案を主張すると恰かも仇敵でもあるかの如く攻撃するので新聞紙は之を場當り狂言の如く又昔時の梅ヶ谷常陸兩横綱の角力の如くにはやし立つるのである、そこで各省の局課長達はあらゆる智彙を搾り立て、己が省の大臣の腰を押すので少しく老練な經世的頭腦の持主である大

臣だと其處をうまく取扱つて何時とはなしに大藏大臣の肩をもつことになるが此處一番己の力量を示し天下にも省内にも其存在を確認せしめんと欲してか部下の主張を其儘に閣議に持出す。大藏省の主計局長になると中々巧妙なもので各省豫算編成の内容と其疵所を秘かに取調べて置いて餘り相手が大藏大臣を壓迫するとチクリと其急所を突つのである、これには折角強調しても其處は痛し痒いであるから先づ腰がくだける、そして時には豫算編成難で内閣崩壊近きにありなどのヨタが飛ぶ、どうせ豫算を有利に轉向しても其執行の役徳は他人であると云ふ方が八九分通である夫れよりも今日の首か大事であるとの心の動きか擡頭して來ると萬事が解決して何時の間にか大藏大臣は地方に靜養するとの報が傳へらるゝ、此處で其内閣は萬歳だ、ソナナ風で堂々たる帝國の歳入歳出歳計豫算案が作製せられ夫れが帝國議會で蒸し返へさるゝと云ふ段取になる、大處高所から我國の姿

をハツキリと認識し各省要求中の如何なる行政費が國政上必須的經費であるかを比較考査して意見を立てるのが内閣會議に於ける内閣諸大臣の取るべき途でなつて閣議の席上に在ては討議表決する大臣として各省長官は出席なき筋合である、各省長官でなくして内閣大臣として其審議權を行使すべき理である故に従來の豫算案審議の閣議の實狀から見ると各省長官があつて内閣大臣は存せざるものと視らるべきではなからうか無任所大臣即ち各省長官ならざる大臣の必要を感じるは斯る理のあるに由るであらうか敢て借問する。

(声生)

バスから電車へ

わたしは澁谷から丸の内までを風の吹く朝も雨の夕も通はねばならぬ身であります、今度東京市營のバスから電車へ無料乗換が出来ることになりましたことは天へも登る様に喜びに満されました、朝御化粧などで思はず時がおくれました時など氣も狂

はんばかりに焦りました。いつもの電車では唯イラ／＼するので會社に着きましても胸

がわく／＼して氣がおちつかず事務を執る氣になりませんが此年未からはソソなこと
はありませんと思ひますホントに嬉れし福音でありましてポーナスの少しばかり多い
よりも心もちがよろしく存じます、市電の御方に感謝をさ／＼げますがモット／＼早く
から願ひたいと思つておつたことで少しは遅くなりましたが致しますが前にも申し
ました通癖らしい喜ばしいことの限りない思ひがします、それで尙身勝手願かは存
じませんが乗換場所をバスの停留場ごとに御許しになつ居りますが夫れは混雑が甚し
いので車掌嬢が御困りだろうと存じます、
でありますから速力がにぶくなつてまたまた焦燥の氣分にかゝりますから是非電車の
乗換場所に限つてバス電車の乗換を制限し
ておもらひたいのであります道路改良會の方から可成お早く御交渉の事を御願
ひ致します。

(フミエ)

其情飼犬に及ぶ

豪膽と俠氣とで名高い新河長官一夕酒を飲んで還なしと思はれてのことか、したたかに杯を傾けられ超度酔心地になつたので自宅に歸ると忽ち木刀をひつさげて庭に出て洋服の上着を襟側に投げすて居合聲も高々と冬の夜のしじまを破り濠に浮寝の鴨を驚かすこと三刻寒氣肌に徹したるを覺えたので靜かに寢床に入つた。一夢未だ結び得ざるに女中入り來りて上着の置場を問ふ、ナニ洋服の上着どこぞ其處らにあるよと答へたがポケット内には俵給袋が入れてあることを思ひ出してガベと計りにはね起き目鏡もかけず星の光をたよりに庭の彼處此處と探し歩けど之れぞと思ふものも見當らず心聊か狼狽した、夫れも其管時が悪い年末の迫つた此頃である。若しや行衛不明となつては家政に異状を呈せざるを得ない、尙も根氣よく手さぐりして居ると庭の隅にガサコツと音が聞ゆる、近づいて見れ

ば愛犬ボチが上着をずだ／＼に喰ひ破りながらジャレておるのである、早速右手を伸してとり上げポケットを見れば俵給袋には些かの異状がない、ヤレ／＼と胸なでおろし愛犬の頭をなでながら「汝よく主人の胸中を明察するの智あり萬物の靈長すらも遠く及ばざる處實に賞讃するに足る尙よく身を持って忠勤をぬきんでよ」とボチは尾をふりて暗に姿をかくしたとのことである。

翌朝此出來事を耳にした部下一同は炎々とも立つておるストーヴの前に集合して「好長官の情誼飼犬に及ぶ善哉善哉免今非常時局に際して豫算は削減せられ我等の首は僅かに三月餘にすぎず、願くは我等の長官の精進努力の上に天の祝福あらんことを」と祈願したと報ぜらる歳將に暮れんとして聊かインフレノ景氣に喜ぶ身も來る年を思へば春必しも春ならざる心地する、此秋此出來事を知つて幸あれと祈りて止まぬものである。

(大晦日の夜外櫻生)

屠蘇 綺言 道しらべ

明けまして御芽出度ふ、斯く言ふ私は國道であります平素沈黙家ですから正月文は饒舌を許して下さい、私の一門は彌や榮へに榮へ先づ弟分の府縣道其の又兄弟分の市町村道を初めとし外戚には鐵道軌道自動車專用道、觀光道地下道なども追々誕生し其の外林道畔道私道等々枚擧に遑あらざる繁昌振りて夫れに道路改良會や近頃各地に族出する道路愛護會杯で可愛がつて貰ふので益々愉快に働いて居ります其上追々鋪装の衣を着せて頂くので愈々朗かです。さて私の名の道と言ふ字を使つて居る森羅萬象を擧ぐるならば素より數ず限りもありますまいが思ひ出す儘を述べて見ますと第一に有がたい鼻道を初めとし、神道佛道天道人道王道霸道正道邪道武士道、ア、迪も一口には言ひ切れない、神さまでは道祖神古今の人名では菅原道眞公大田道灌小野道風八犬傳の犬山道節西郷從道野津道貫支那の詩人

で程道明未だいやと言ふ程ありませんが一寸思ひ出しませんが、次には地理で、北海道五畿七道朝鮮十三道は暫く抜き淺草の馬道横濱の馬車道坂では濫谷の道玄坂堀ではないが大阪の道頓堀、温泉では道後、官廳では鐵道省、内務省や地方廳の道路課、官職名では鐵道大臣道路課長道路主事道路技師道路技手道路書記道路看守道路工夫法律では田中好氏の道路法講述、十返舎一九の道中膝栗毛、古諺には夕べに道を閉て晨に死すとも可なり、日暮れて道遠し、旅は道連れ、世は情け、人は道によつて賢し、桃季言はざれど下自ら徑を爲す、蛇の道は蛇、和歌では吹風を勿去の關と思へども道も瀨に散る山櫻花、百人一首の大江山いくの道の遠ければを初めとし澤山ありませふが冗いから止めて俳句では道端の木槿は馬に喰はれけり、情歌ではまゝよ三度笠横ちよに冠り、旅は道連れ世は情け劇や情瑠璃では

娘道成寺梅川忠兵衛道行、遺訓では家康の人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し、遊び事では道中又六猴玄道、呑む買ふ打つの三道樂、病名では食道癌尿道炎、血の道、まあ之位ひで止めますが假りに字引から道の字を削つたとしたら皆様隨分御不便でせう道だうも御退屈ごたいくつ様

神奈川縣 道 愛山 人

官私立大學の優劣

十數年間面會しなかつた一老友が意外にも來訪して呉れた其時言ふのに、我國には官私立の大學が十數校もあつて其大學の卒業生は何萬人であらう、そして國の内外に在つて相當活動して社會の重鎮となつて居る、而かも帝大を卒業しないものは人でないと言はれた時代があつた程で常時非常時を問はず我國民は此等の有識者に依つて保全せらるゝことであると信ぜられた。然るにだ、近時の國難時代に遭遇すると此等官私立大學の卒業生は何處に何にして居るか

獨り専門的教育機關である陸軍大學の卒業生のみが斷然擡頭して來た、國民の指導者は我等である、憂國慨世の精神は我等に在る、披山蓋世の勇は我等に在る、斬馬劍は我等に在る、治世の智は我等に在る、財政

整理の企は我等に在る、經濟統制の策は我等に在る、對外政策は我等に在る、國防の秘計は我等に在る、光を東海から發せしむる動力は我等に在る、世界平和の鍵は我等に在る、我等を差し置きて國難に膺らんとする者一人もあらず、來れ我等の同志よ我等に抗敵せんか我等に追隨せんか汝等の意の儘である、我等は唯國難に當らんのみ、唯實力を以て勇往邁進するのみである。其意氣將に天地を吞まんとする勢である、他大學卒業生は息をひそめ聲を殺らし一人の立て國難に當らんとする人物がないとも見らる。此の如き世相を君は何と見るか悲まないか、なげかないか、陸軍大學以外の大學から偉人傑士と言はずともせめては巫偉人、巫傑士を出すの力なきかホー君と意氣

軒昂當るべからざる態度であつた。此老友もまた愛國の士か。(大晦日 ハトウ生)

交通地獄の濟度?

帝都に於ての交通事故は年々多きを加へる、昨八年中の事故数が三萬八千九百二十件で其内八割が自動車に依るものであると報ぜられて居る實に寒心に堪へない事である。それかあらぬか警視廳當局では從來本廳中心主義であつた取締方針を改めて九年度からは事務簡捷を計り自動車運轉手の臺帳、願届の書類等一切を所轄警察署を經由せしむることとするとの事である又交通事故の被害者中には交通規則を無視する者が少なくない事實に鑑み自今一般歩行者に對しても自動車運轉手に對すると同様交通規則違反の場合は勿論信號を無視したる場合は容赦なく之を嚴罰に附する方針を以て臨むこととするとの事である、實に適切な企圖であると思ふが停車線を無視したり、歩道を疾走したり、横丁から飛び出した

り、安全地帯の設備なき電車停留場やバスの停車場で群集の間に割込んで走つたり、自動車と相競ふて疾驅したり、勾配ある坂路を片足かけて運轉したり、リヤカーを無理につけたり、サイドカーを付けて居るに拘らず歩行者の中に乗り入れたり種々な徒ら乗りをする自轉車乘りに對しては如何に取締らんとするか、乗車下坂を禁止する警視廳の標示を無視する自轉車乘を如何に處罰せんとするか横著な自轉車乘の取締は嚴重ならしめねばならぬ、又陸軍兵卒がストツプの信號を無視して横斷するも交通巡查は知らざる態度を取つて居つた事實を目撃したことも再三に止まらない、大阪事件の先例もあることだ陸軍の上司特に兵の教育の職にある將校に對して考慮を煩はした

いものだ。

(猿田)

離れ島に春の雪見る

嵐の路

巴藤